

4 教科別、観点別及び領域別の結果概要

(1) 教科別正答数分布から

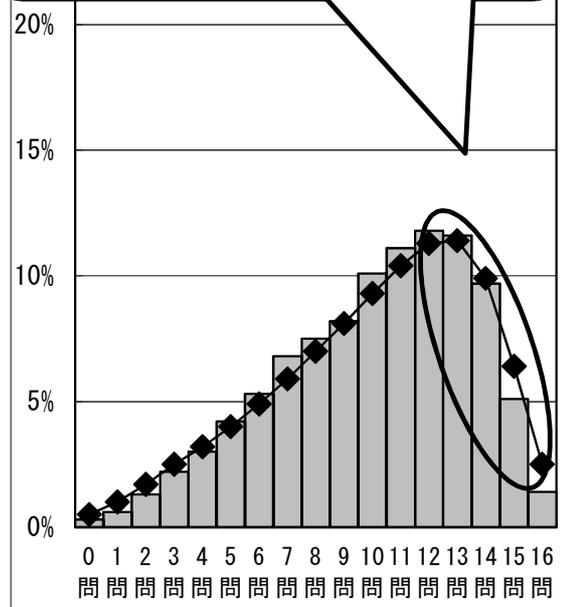
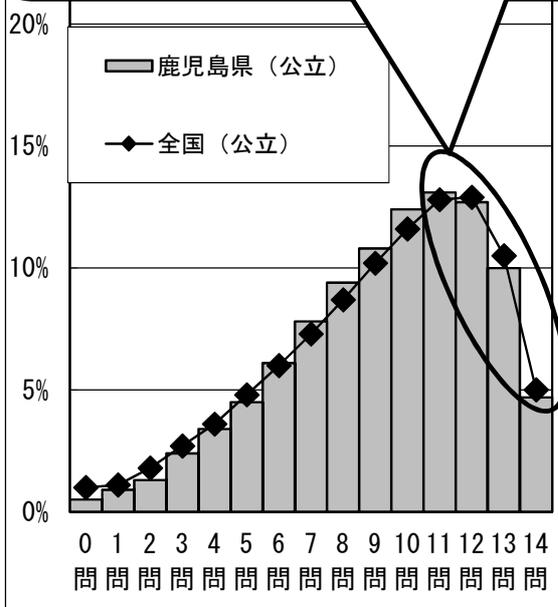
【小学校】
【国語】

※ 下線の値は全国（公立）の中央値+1問にそろえています。

【算数】

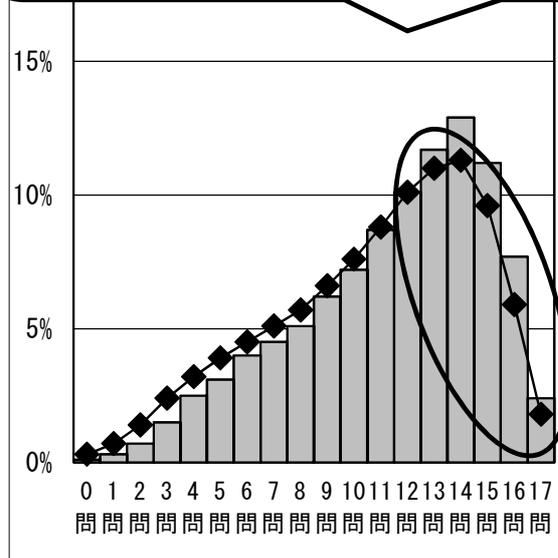
- ・ 11問以上正答した児童の割合が全国より低い。[本県40.5% 全国41.2%]
- ・ 前回調査[本県53.4%]より上位層が減少したことから、中位層への効果的な指導の継続が必要である。

- ・ 12問以上正答した児童の割合が全国より低い。[本県39.6% 全国41.5%]
- ・ 前回調査[本県44.2%]より上位層が減少したことから、中位層への効果的な指導の継続が必要である。



【理科】

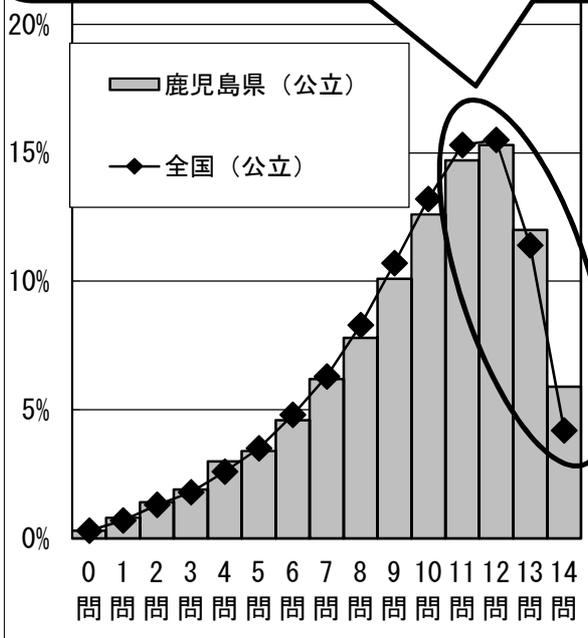
- ・ 12問以上正答した生徒の割合が全国より高い。[本県56.0% 全国49.7%]
- ・ 前回調査[本県40.0%]より上位層が増えたことから、中位層への指導の手立てが効果的であった。



※ 下線の値は全国（公立）の中央値+1問にそろえています。

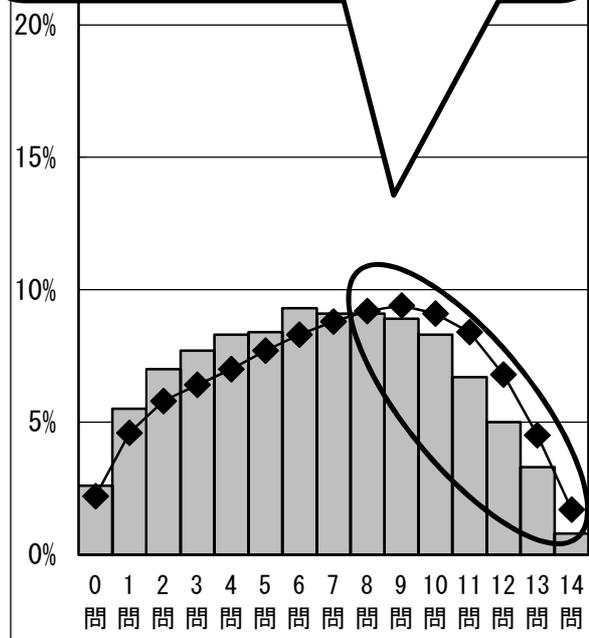
【中学校】
〔国語〕

- ・ 11問以上正答した生徒の割合が全国より高い。
〔本県47.9% 全国46.4%〕
- ・ 前回調査〔全国との差-0.6〕は、全国との差がマイナスであったが、今回調査はプラスに転じたことから、中位層への指導の手立てが効果的であった。



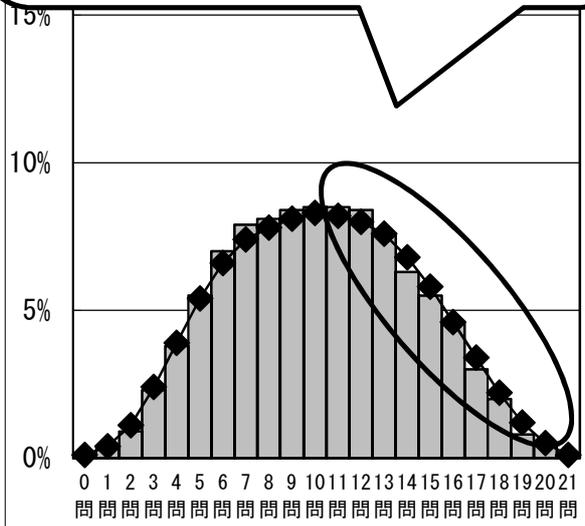
〔数学〕

- ・ 8問以上正答した生徒の割合が全国より低い。
〔本県42.1% 全国49.1%〕
- ・ 下位層、中位層ともに、全国よりも多いことから、下位層、中位層への実態に応じた手立てが必要である。



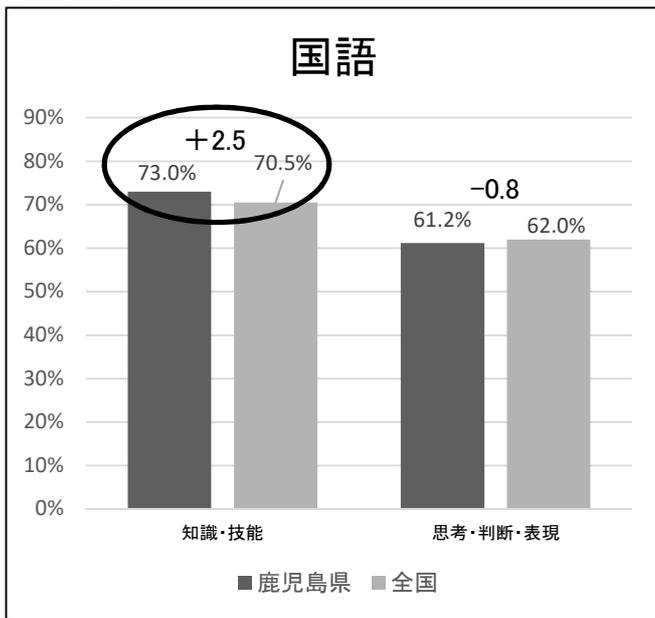
〔理科〕

- ・ 11問以上正答した生徒の割合が全国とほぼ同じ。
〔本県47.3% 全国48.4%〕
- ・ 前回調査〔本県40.4% 全国43.5%〕より全国との差は縮まりつつあり、中位層への指導の手立てが効果的であった。
- ・ 中位層への効果的な手立ての継続と、下位層の実態に応じた手立てが必要である。

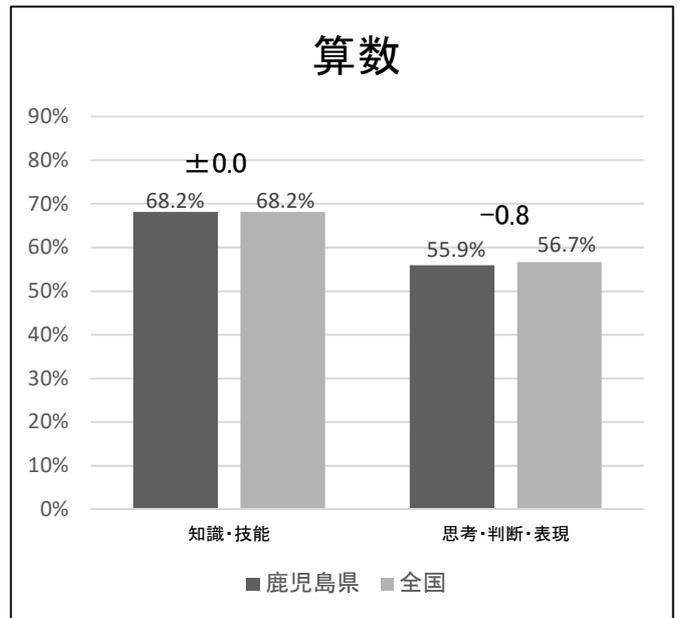


(2) 観点別の平均正答率から

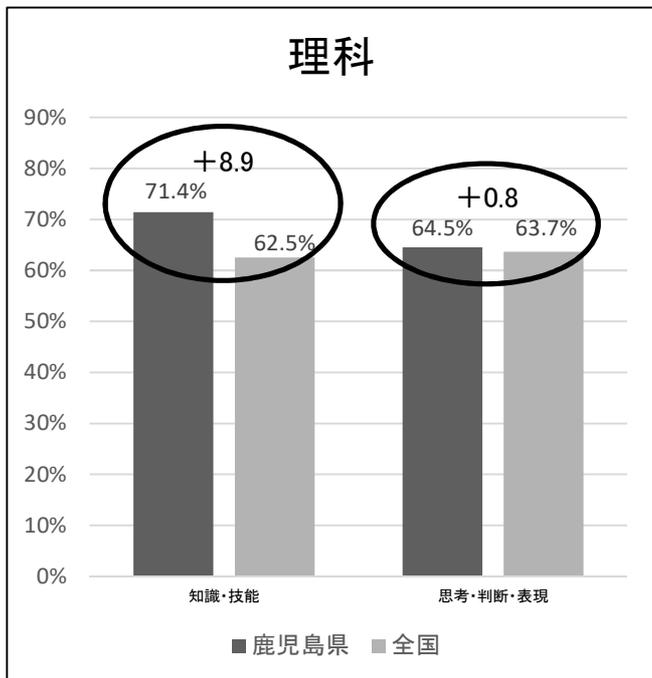
【小学校】



知識・技能は前回調査に引き続き、全国の平均を上回っている。
 思考・判断・表現については、前回の調査では全国との差が+1.9であったが、今回の調査では-0.8となっている。

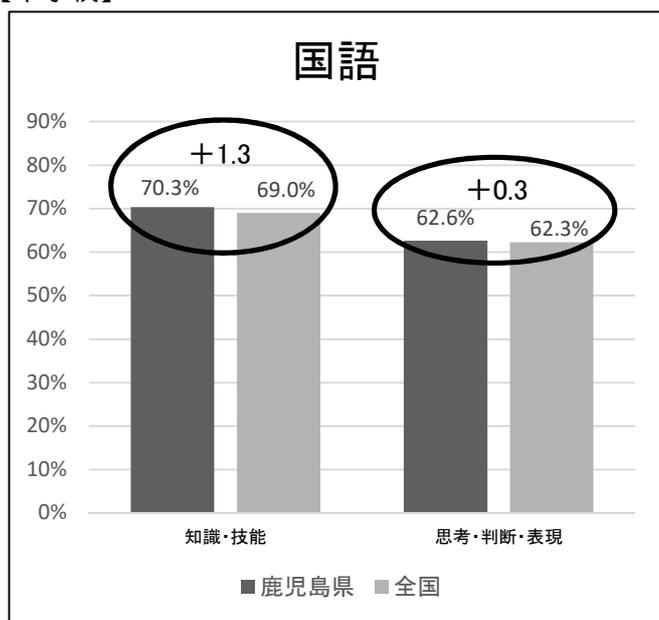


知識・技能については、全国の平均と同等である。
 思考・判断・表現については、前回の調査では全国との差が+1.7であったが、今回の調査では-0.8となっている。



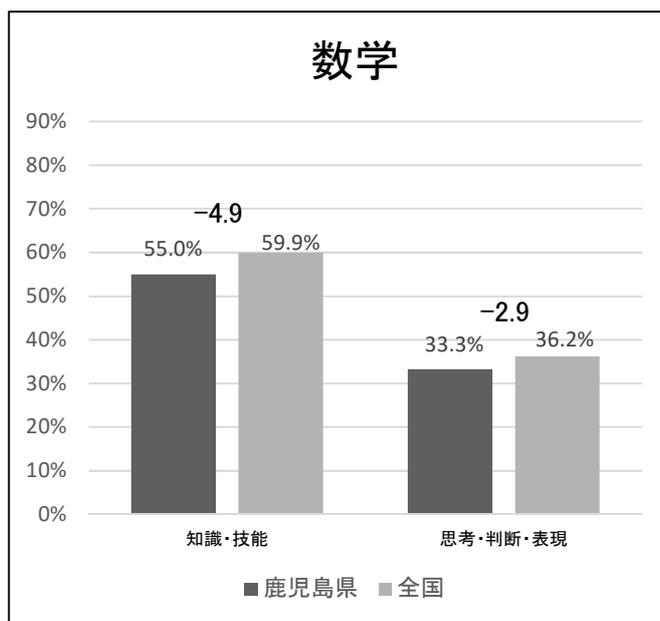
知識・技能については、全国の平均を大きく上回っている。
 思考・判断・表現についても、全国の平均を上回っているが、知識・技能の全国の平均との差+8.9に比べると、+0.8と差が小さい。

【中学校】



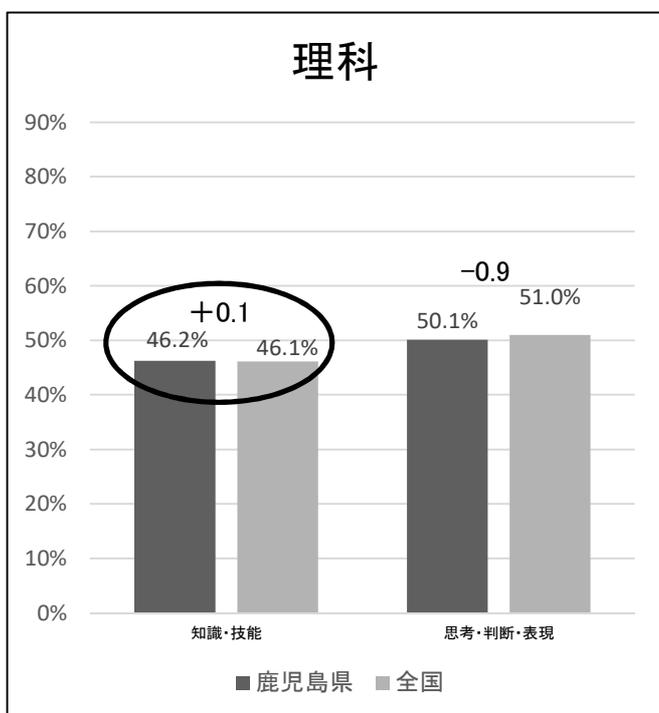
知識・技能, 思考・判断・表現ともに, 全国の正答率を上回っている。

前回の調査では「言語についての知識・理解・技能」が全国の正答率との差-0.4に比べて, 今回の調査では知識・技能が+1.3となっている。



知識・技能, 思考力・判断力・表現力ともに, 全国の平均を下回っている。

前回の調査では「数量や図形などについての知識・理解」が全国の正答率との差+0.3に比べて, 今回の調査では知識・技能が-4.9となっている。

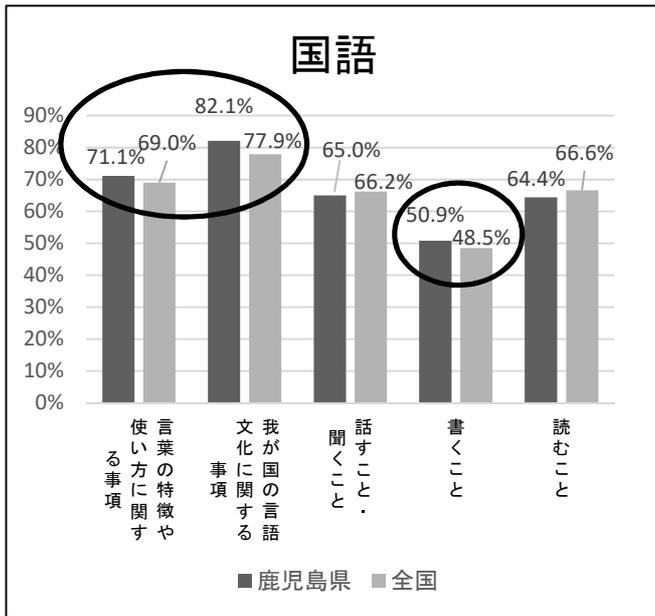


知識・技能については, 全国の正答率を上回っている。

思考・判断・表現については, 前回の調査では「科学的な思考・表現」が全国の平均との差-1.8に比べて, 思考・判断・表現が-0.9となっている。

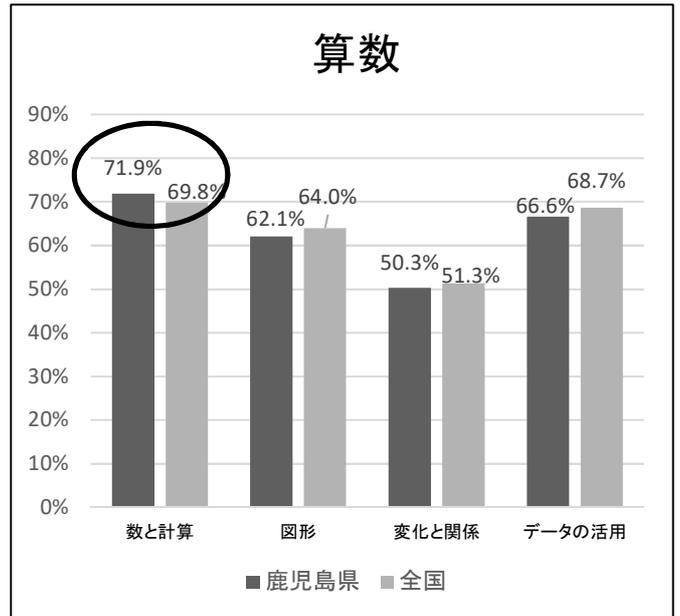
(3) 領域別の平均正答率から

【小学校】

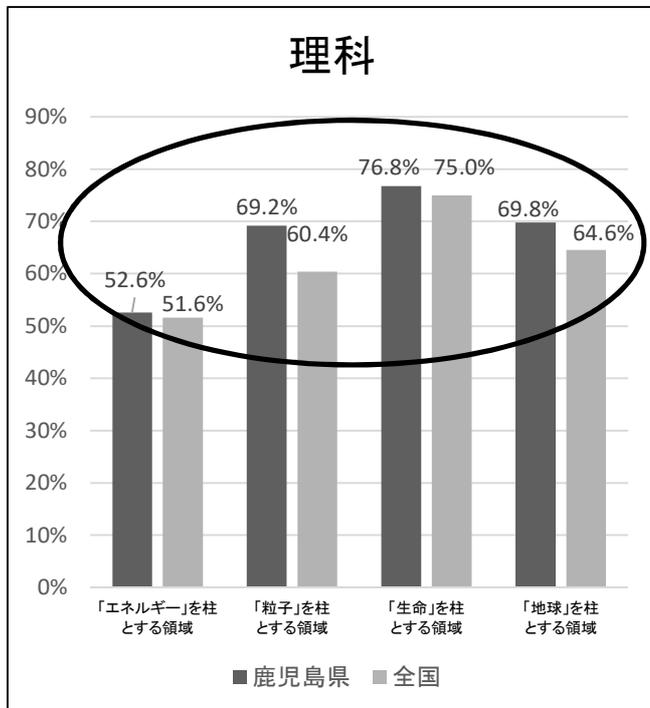


5領域のうち、3領域で全国の正答率を上回っている。3領域ともに、前回調査から引き続き全国の正答率を上回っている。

「話すこと・聞くこと」は前回調査に引き続き、全国の正答率を下回っている。

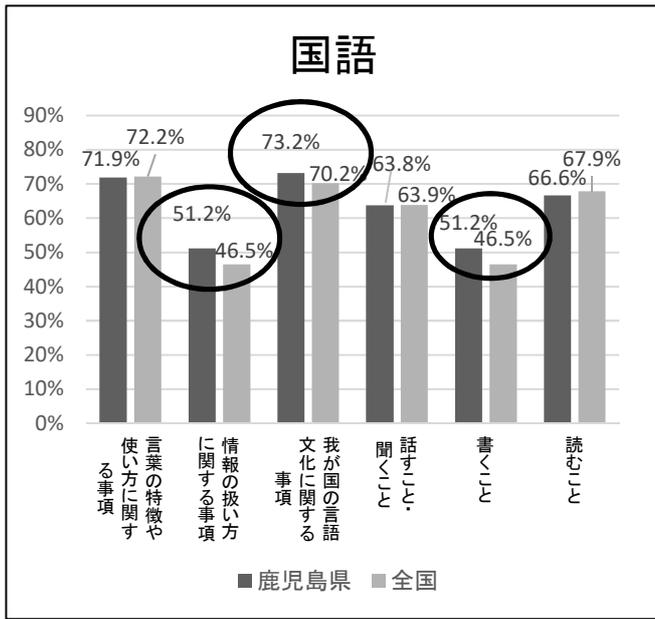


4領域のうち、1領域で全国の正答率を上回っている。「変化と関係」の領域は前回調査は全国の正答率との差が-2.2と比べると、今回調査は-1.0と差が縮まっている。

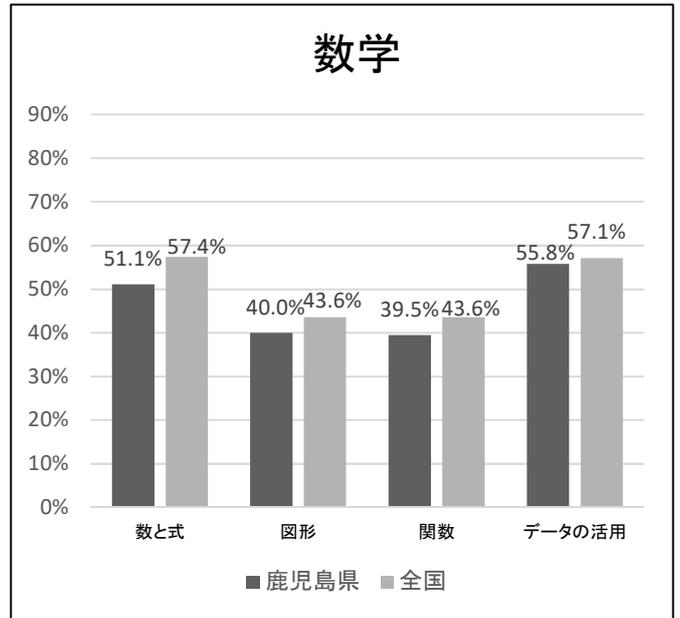


4領域のすべてにおいて全国の正答率を上回っている。特に、「粒子」を柱とする領域は、全国の平均正答率を+8.8ポイント、「地球」を柱とする領域は、全国の平均正答率を+5.2ポイント上回っている。

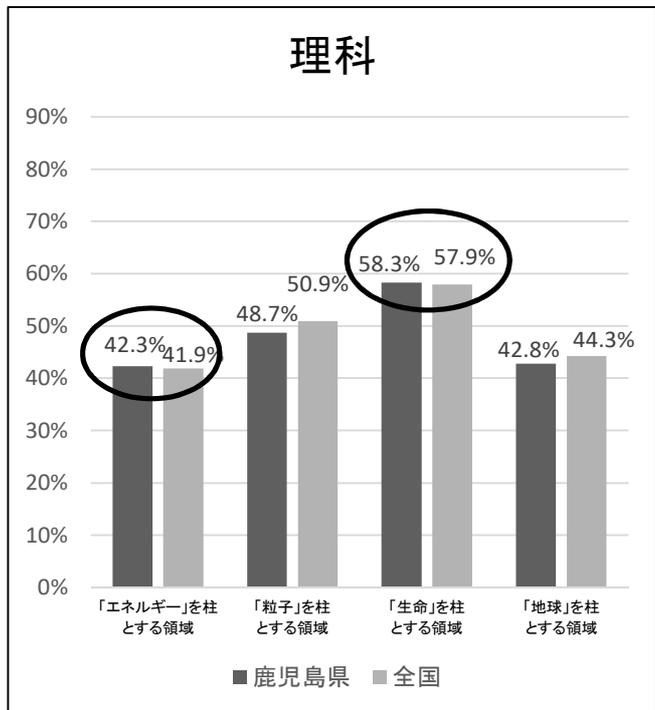
【中学校】



6領域のうち、3領域において全国の正答率を上回っている。前回調査の「書くこと」は全国の正答率との差は-0.2であったが、今回調査では+4.7に向上している。



4領域すべてにおいて、全国の正答率を下回っている。前回調査の「数と式」は全国の正答率と比べると-1.2だったものが、今回調査の「数と式」は-6.3に大きく差が広がっている。



4領域のうち2領域で全国の正答率を上回っている。前回調査で「地学的領域」の全国の正答率との差は-2.6と比べると、今回調査で「地球」を柱とする領域の全国の正答率との差は-1.5と差が縮まっている。